

JCI-TC-083A「混和材料から見た収縮ひび割れ低減と耐久性改善に関する研究委員会」

第4回 全体委員会議事録

日時：2009年2月27日

場所：JCI 会議室

参加者：(敬称略)名和委員長，山田幹事長，石川，白井，大谷，閑田，蔵重，佐伯，陣内，高橋，谷村，檀，半井，中山，久田，福留，丸山，今本(議事録)，ゲスト：小早川

資料：4-1 議事次第

4-2 第3回全体委員会議事録(案)

4-3 委員会活動報告(名和委員長)

4-4 WG1 拡大幹事会メモ

4-5 WG1 共通実験メモ

4-6 WG1 鉄筋埋設型拘束試験における事前検討(案)

4-7 WG2 議事メモ

4-8 WG2 水硬性セメントの性能規格メモ

4-9-1 WG4 第二回委員会議事録(案)

4-9-2 WG4 既往文献調査に関するメモ

4-10 WG4 データベースフォーマット

議事(主な内容のみ記載)

1. 第三回議事録(案)について檀委員より報告がなされた。

・異議無く承認された。

・新任の高橋委員より挨拶がなされた。WG2 メンバーとして活動いただく。

2. 小早川氏(太平洋セメント(株))より話題提供「フライアッシュのポゾラン反応解析法と既設構造物への適用」がなされた。

・40 の養生条件が効果的な促進試験として位置づけられると、非常に興味深い。

3. WG1 で実施予定の共通試験の概要について、閑田幹事より報告がなされた。また、事前検討の方針について、谷村委員より報告された。

・事前検討は、定着部の長さの影響を検討するとともに、拘束試験における、埋設鉄筋とコンクリートひずみの適合性を検討することを目的とするものである。

・拘束棒は、丸鋼にネジを切る方向で検討している。谷村委員の事前検討結果を踏まえて、共通試験に用いる試験体の発注をかける。

・実験担当案は了承された。

・型枠の発注数量：1シリーズ 2 体の試験体を作製する。これを目安に各機関は型枠を発注する。

・高炉スラグ：荷姿は缶。着払いのみ各機関で負担。檀委員が手配。一般に流通している

成分（セッコウ無しとはしない）とする。フライアッシュ：10000 円/ton で石川委員が手配。セメント：太平洋セメントが手配。着払い。

・必要材料量は各委員より閑田幹事に連絡し，その情報を集約した上で，幹事より上記の材料供給機関に発注することとした。

・モールドゲージ：共和電業製とする。

・実験データの取り扱い：試験費用を試験機関で負担するため，データも試験機関に帰属するものとする。

4．WG2 の活動状況および水硬性セメントの規格について山田幹事より説明がなされた。

・新しい委員として，吉田氏および川端氏を迎えたい。

5．WG3 の活動状況について久田幹事より説明がなされた。

6．WG4 の活動状況について石川幹事より説明がなされた。

・指針・規格の調査について，これらに関わっている委員の方のご協力をお願いしたい。

・既往論文の調査として，混和材料別に WG で担当者を割り振る方向で検討している。

7．JCI 年次大会のポスター：内容・構成は幹事団で検討する。4 月下旬もしくは 5 月上旬までにポスターを作成する必要がある。WG1 では実験の概要を掲載するなど，各 WG で分担する方向で検討する。

8．その他

・次回の話題提供は横浜国大細田先生をお願いしたい（山田幹事長）。

9．次回委員会

日時：メールで調整する。

場所：JCI 会議室

<文責 今本>